

事業会社の財務担当幹部・マネジャーの相互啓発・情報交流の会

第35期

グローバル財務戦略研究会

今期の研究目標

超金融緩和政策転換を見据えた財務戦略

第1回例会

日時:平成30年2月21日(水) 15:30~17:30 (17:30~19:00 懇親パーティー)

会場:東京・四ツ谷『主婦会館プラザエフ』

15:30 基調講演『「まさか」の時代の企業と経済』

- I. まさかの出来事が重なる内外の政治とその背景
- II. にもかかわらず好調な世界経済
- III. アベノミクスの残る課題——賃金交渉の行方
- IV. 金融緩和の基調は続くか
- V. 日本経済の中長期展望



日本経済新聞社 編集委員 滝田 洋一氏

略歴

日本経済新聞編集委員。経済・金融などの分野を担当し、日本経済新聞、日経電子版、日経ヴェリタス、日経マネーなどにコラムを連載。BSジャパンの「プラス10」で月曜と水曜にニュース解説を担当。1981年慶応義塾大学大学院修士課程(法学研究科)修了後、入社。証券部、金融部、チューリヒ支局、経済部、米州総局(ニューヨーク)などで勤務。論説副委員長を経て2011年から現職。2008年度にポーン・上田記念国際記者賞。
著書は「世界経済 まさかの時代」、「世界経済大乱」、「金利を読む」、「通貨を読む」、「日本経済 不作為の罪」、「日米通貨交渉 二十年目の真実」(日本経済新聞出版社)など多数。

17:30 懇親パーティー

19:00 ※第1回例会、第2回例会は入会を検討いただける方の参加も可能です。事務局担当までご一報お願いします。

第2回例会

日時:平成30年3月14日(水) 15:30~17:30

会場:東京・四ツ谷『主婦会館プラザエフ』

15:30 『YKKの世界6極経営体制による
地域に根差した連結経営の取組み』(仮)

- I. はじめに
- II. YKKグループの概要
- III. YKKとは…企業文化、風土
- IV. YKKグループの連結経営基盤構築
- V. YKKグループの財務管理



※内容は若干変更する場合もございます、予めご承知置きください。

YKK株式会社 執行役員 財務・経理部長 宮村 久夫氏

略歴

1978年吉田工業(株)(現YKK(株))黒部工場経理課原価計算係に入社、建材部門(現AP事業の製造部門)の業績管理に従事。1994年経理部決算課長を経て、2001年経理部長に就任し、2002年末中国のグループ事業会社を統括するYKK(中国)投資有限公司の設立に董事副総経理として上海に赴任。2008年執行役員財務・経理部長として帰任、現在に至る。

17:30

第35期 開催にあたり

本会合は業種・業態を超えた事業会社の財務担当部門長やマネジャーが集まり、企業財務をめぐる今日的課題に対する実践施策の探究を目的に1983年に発足いたしました。

月例会では、ゲストやメンバー企業の時流に即したテーマの講演があり、そして質疑応答やグループ討議の時間は活発な議論と本音の意見交換の場として機能しています。

ギブアンドテーク、そしてオフレコの会ならではの業種を超えた財務パーソンの人脈形成と活きた体験やノウハウの交流をはかることができます。

自社の財務部門のマネジメントや、悩み・課題を抱えたときに役立つ財務パーソンのネットワーク作りを希求しておられる熱意ある方々の参加を心からお待ちしております。

運営の基本

ー共に学び合い、活かし合い、そして残すー

- I. 異業種企業の財務担当部門の責任者・マネジャーが集い実務の中から得た体験、実例、知見ノウハウを相互に交流する。
- II. メンバー間の信頼関係に基づく、人的ネットワークを築き、情報交流の中から自社の課題解決のヒント、方策をつかむ。
- III. 研究討議成果を共に活かし、必要により報告（提言）書として残す。

運営要項

研究期間

第35期 平成30年2月～平成30年12月(全11例会)

原則として毎月1回、水曜日の15:30～17:30

会場

飯田橋『日本出版クラブ会館』、麹町『企業研究会・セミナールーム』等を予定。

合宿研究会

研究交流の深化と親睦のために、年1回実施（伊豆・箱根など1泊2日(金)・(土)）。

メンバー構成

主登録：財務、資金、経理、金融担当幹部・マネジャー

※原則として毎例会には主登録の方が出席いただけますが、テーマ内容によっては、代理の方の参加も可能です。

運営体制

〈代表幹事〉 **大田 研一氏** (株)ポートフォリア 社外取締役 元 日本電気(株) 財務部長 元 山口大学大学院教授

【略歴】1971年、一橋大学社会学部卒業。同年日本電気(株)入社。以後、テキサス大学アーリントン校MBAコース留学、NECアメリカ出向、NECインダストリアルズ出向など約12年間の海外駐在を経て、日本電気(株)財務部長、財務主席主幹を歴任、2000年退社、ドイツ証券東京支店投資銀行本部マトジック・ディレクター、ベンチャー企業、戦略コンサルタント会社等を経て2005年から2007年まで山口大学大学院技術経営研究科教授、2005年より2010年まで(株)アコーディア・ゴルフの監査役及び取締役常務執行役員、日本CFO協会 主任研究委員。(社)企業研究会 参与。ほか要職多数。

〈運営幹事〉 ※メンバーの代表として研究活動の企画にご協力いただくと共に、全体討議、グループ討議ほかの進行・運営をリードいただきます。
(順不同)

武南 勲氏 新日鐵住金(株) 財務部資金第二室長

磯崎 真也氏 (株)日立製作所 財務戦略本部部長代理

高橋 俊介氏 三菱重工業(株) グローバル財務部次長

諏訪原浩二氏 日本電気(株) 財務部長

新井 将高氏 アステラス製薬(株) 経営推進部財務グループ課長代理

高塚 要氏 デュボン(株) 執行役員財務部長

坪井 伸介氏 (株)ベネッセホールディングス 執行役員 事業開発本部長・財務部長

萬成 力氏 (株)ニフコ 執行役員 財務本部副本部長財務・経理部長

〈アドバイザー〉 **早瀬 勇氏** 元 金沢星稜大学 学長 元 鹿島建設(株) 顧問

【略歴】一橋大学経済学部卒。東京銀行入行。フランクフルト支店為替・資金課長、ルクセンブルク東銀directeur、東銀シドニー駐在員事務所長、豪州東銀行取締役。鹿島建設(株) 国際財務部長、鹿島ヨーロッパ社取締役副社長、鹿島本社顧問。経団連財政制度委員会企画部会委員。2001年金沢経済大学教授(国際金融担当)、02年同大学大学院教授、同年同学国際交流センター長、04年4月金沢星稜大学学長。08年3月金沢星稜大学学長を任期満了により退職。横浜如水会会長

運営方法

- メンバーの最も関心のあるテーマを取り上げるため適宜希望テーマを収集し、幹事グループが協議して具体的課題を設定します。
- 定められたテーマについて、メンバーによるケーススタディと問題定義をもとに、日常実務の申から得た事例とノウハウの交流を懇談会形式で進めていきます。
- テーマに応じて最適な外部ゲストを招聘し、専門知識の習得と活きた先進他社事例を学びます。
- アンケート調査を基に、より突っ込んだ意見交換を行います。

第1回
2/21(水)

【基調講演】『「まさか」の時代の企業と経済』

日本経済新聞社 編集委員 滝田 洋一氏

第2回
3/14(水)

『YKKの世界6極経営体制による地域に根差した連結経営の取組み』(仮)

YKK株式会社 執行役員 財務・経理部長 宮村 久夫氏

第3回
4/18(水)
(予定)

『2018年度の為替相場展望』(仮)

シティバンク銀行 市場営業本部外国為替部 チーフFXストラテジスト 高島 修氏

第4回
5/30(水)

『ここだけは押さえておきたい為替リスク管理の進め方 5つのポイント』

～フレームワークと管理プロセスを最新のテクノロジーを用いて解説～

Pwcあらた有限責任監査法人 財務報告アドバイザリー部シニアマネージャー 渋谷 幸平氏

●研究テーマの例示●

※月例会テーマは下を基本にメンバーの希望を伺い、運営幹事会で決定します。

第5回
6/13(水)

1. 経営環境の変動と財務戦略への影響

- ①金利上昇への対策、マイナス金利下での工夫
- ②Fintechによる金融サービスと経理財務への影響
- ③コミットメントラインの活用状況～流動性カバレッジ比率の改訂に伴う影響～
- ④財務(資金)業務に関するAIの活用、RPAの導入事例

第6回
7/11(水)

2. 2018年、資金調達・運用における実務上の課題

- ①株主還元策 ～策定に当たっての留意点、株価との連関～
- ②流動性リスク、決済リスクへの対応策
- ③社債マーケットへの効果的なアプローチ手法
- ④自社株買いの基準と実施状況
- ⑤PMIの財務指標の考え方財務的な留意事項

《合宿研究会》

第7回
8/24(金)・
25(土)

3. グローバル・グループ財務活動とリスクマネジメント

- ①アジア新興国でのグローバルキャッシュマネジメントの最新動向
- ②海外グループ会社管理の課題と具体的取り組み事例
～財務マネジメント、業績評価、地域統括会社(金融子会社)、外貨、クロスボーダーによる資金調達・管理、ネットング、経営幹部の登用や本社のコントロール体制など～
- ③グローバル、グループ間での資金再配分(地域、通貨)

第8回
9/12(水)

4. 財務組織の強化とマネジメント・人材育成

- ①組織上(グローバル)の位置づけ、推進組織体制、責任権限、CFOの役割
- ②グローバルな財務、会計、経理スタッフの人材育成・確保、キャリアパス
—中長期的な観点から—
- ③財務業務のアウトソーシング、海外におけるシェアードサービス体制

第9回
10/10(水)

《合宿研究会討議 テーマ案》

- ①グローバル為替リスク管理方針、グループ内配当政策、B/Sの為替リスク管理
～リスク管理の対象、ポリシー、ヘッジ割合・手法～
- ②株主還元策 —配当方針 自己株式取得
- ③M&Aにおける情報管理、推進体制、投資採算性基準、他

第10回
11/14(水)

《グループ討議 テーマ案》

- ①信用リスク管理の各社の教え方
- ②資金調達戦略と方針 — 社債発行等の有利子負債の活用等
- ③財務指標の考え方とマネジメント
- ④グローバルでのトレジャリー組織のあり方、トレジャリー機能とFinance(保険)業務
- ⑤デリバティブ活用の考え方 — ヘッジ会計、ヘッジポリシー他 —

第11回
12/5(水)

2月15日	<p>【基調講演】『2017年の世界経済と株式市場の見通し』</p> <p>みずほ証券株式会社 エクイティ調査部 パン・アジアチーフ株式ストラテジスト 菊地 正俊氏 <懇親会></p>
3月15日	<p>【講演】『ムーディーズの銀行格付手法と 2017年の日本の銀行業界の見通し』</p> <p>ムーディーズ・ジャパン株式会社 金融機関グループ ヴァイスプレジデント・シニアア 山本 哲也氏</p>
4月12日	<p>【講演】『IBM 経理財務領域 業務変革と 企業決済業務へのBlockchainの活用について』</p> <p>日本アイ・ピー・エム株式会社 グローバルビジネスサービス事業部 戦略コンサルタントサービスアソシエイト・パートナー 岡部 武氏</p>
5月17日	<p>【講演】『海外子会社からの資金回収戦略の立案、実施及び 監督におけるポイント』</p> <p>公認会計士、公認内部監査人、公認不正検査士 優成監査法人(Crowe Horwath) 秋元 宏樹氏</p>
6月14日	<p>【グループ討議】 『事業環境のグローバル化進展と財務政策について』</p> <p>ーアンケートを基にしたメンバーレポートと意見交換ー</p> <p>I. グループ間での資金配分の効率化とガバナンス II. 最適な手元流動性の運用ルール III. 銀行取引政策</p>
7月12日	<p>【講演】『企業買収の成功要因とPMI』</p> <p>コーポレート・インテリジェンス株式会社 代表取締役社長 武富 為嗣氏</p>
8月25日 ・ 26日	<p>【合宿研究会】 討議テーマ I. 投資判断と経営指標によるPDCA管理 II. 全社リスク管理体制について ～交流シートを基にしたメンバーレポートと情報・意見交換～</p>
9月13日	<p>【講演】 メンバーレポート 『ニフコにおける海外子会社の資金と帳簿の“見える化”プロジェクト』</p> <p>(株)ニフコ 執行役員 財務本部副本部長 兼 財務・経理部長 萬成 力氏</p>
10月18日	<p>【講演】『デンソーのグローバル財務管理体制について』</p> <p>株式会社デンソー 経理部長 新屋敷 博之氏 〃 経理部財務室長 樋口 聖典氏</p>
11月15日	<p>【講演】『テクノロジーを活用したグローバル財務／リスク管理の高度化』</p> <p>～RPA、AI OCR、BI ツール、TMSの統合的な利用方法～</p> <p>PwCあらた有限責任監査法人 財務報告アドバイザー一部 パートナー 福永 健司氏</p>
12月7日	<p>【講演】『2018年の世界経済と市場展望』</p> <p>株式会社武者リサーチ 代表 武者 陵司氏 <終了懇親会></p>

参加者の声

“多様な視点で”

日本企業が持続的成長を求めて海外での事業展開を強化していくなか、重要な経営資源である資金を管理する財務部門もグローバルな視点で業務を深化させることを求められています。しかしながら、変革の激しい昨今の環境において、独自に深化し続けるというのは決して容易なことではありません。

このような状況に置かれた私たちを『グローバル財務戦略研究会』の活動が力強く支援してくれます。毎月の定例会は講演とグループ討議の2パターンあり、講演の場合は専門家である講師の方々が指針となる最新知識を授けてくれます。グループ討議の場合は、各企業で財務の知見を積み重ねてきたメンバーによる本音の議論が交わされ実践的ノウハウが得られます。また一泊二日の合宿では、懇親会でオフレコな話も飛び交い興味が尽きることはありません。

財務戦略についても各社各様で、業界の特徴や海外進出のステージが違えば、取るべき財務戦略も当然変わり得るということを痛感しております。多種多様なメンバーが集まる当研究会だからこそ、活発な議論を通じて様々な気づきを得られるのではないのでしょうか。

第35期においても、より多くの方々にメンバーとしてご参加いただき、人的ネットワークを広げ、互いに刺激しあうとともに、多様な視点からのアドバイスを頂けることを期待しています。

第34期メンバー▶日本たばこ産業株式会社 財務部次長 秦 達彦氏

過去の研究目標：年間メインテーマ

第34期 「大転換期のグローバル経営を支える財務戦略の実践方策」

第33期 「グローバル金融環境の変化を捉えリスクを抑える日本企業の財務戦略を探る」

第32期 「激変する外部環境変化に備えたグローバル財務戦略の実践」

第31期 「脱デフレ・グローバル成長戦略を支える財務インフラの構築」

第30期 「転換期(政治、経済、金融etc)におけるグローバル財務戦略の実践方策」

第29期 「直面する金融危機下で重要性を増すグローバル財務戦略の新たな展開」

第28期 「急成長する新興国ビジネスを支えるグローバル財務戦略」

第27期 「デフレ経済下でのグローバル財務戦略の再構築」

第26期 「金融危機下でのグローバルリスクマネジメントと財務戦略の再構築」



第34期メンバーリスト

(株)ポートフォリア	社外取締役	THK(株)	執行役員経営戦略統括本部財務経理統括部長
新日鐵住金(株)	財務部資金第二室室長	武田薬品工業(株)	財務統括部グローバルトレジャー&ファイナンスマネジメントヘッド
三菱重工業(株)	グローバル財務部次長	(株)オリエンタルランド	経理部財務グループマネージャー
(株)日立製作所	財務戦略本部部長代理	NTTコミュニケーションズ(株)	財務部資金管理部門長
日本電気(株)	財務部長	協和発酵キリン(株)	経理部財務グループ長
アステラス製薬(株)	経営推進部財務グループ課長代理	日本郵政(株)	経理・財務部担当部長
デュボン(株)	執行役員財務部長	大阪ガス(株)	財務部ファイナンスチーム課長
(株)ベネッセホールディングス	執行役員事業開発本部長 財務部長	大王製紙(株)	経営管理本部 財務部財務第二課 課長代理
金沢星稜大学	前学長(元 鹿島建設(株)顧問)	(株)ニフコ	執行役員 財務本部副本部長
清水建設(株)	資金部国際財務課長	大同特殊鋼(株)	CRM部 主席部員(部長)
川崎重工業(株)	財務部副部長	日本ハム(株)	コーポレート本部 経理財務部次長
日立キャピタル(株)	財務本部財務部調達グループ主査	みらかホールディングス(株)	経理財務本部 SRL 部部長
帝人(株)	財務・IR部財務グループ主任	オリンパス(株)	財務本部財務部長
住友重機械工業(株)	財務部長	(株)Mizkan Asset	財務部財務課長
日本たばこ産業(株)	財務部次長	千代田化工建設(株)	財務セクション コーポレートファイナンスグループリーダー

昭和23年5月、敗戦後の混乱と荒廃の真只中に、当時の有力鉄鋼メーカー中堅幹部(主に経理部門)を中心に、数人の学者及び経済安定本部調査課の人々からなるインフォーマルな研究懇親会が開かれました。

その後、自動車、造船、紡績、製紙工業などのメーカー有志も加わってくる中で一定の事務局機構を持つフォーマルな会員相互の研究機関への構想が打ち出され、同年12月7日、経済安定本部長官邸で正式名称を「企業研究会」として創立総会が開催されました。

当初、任意団体として発足した本会も研究活動の活性化と会員の増加に並行し、昭和31年3月31日通産大臣認可の社団法人に組織替えがおこなわれ現在にいたっています。

当会は平成25年に創立65周年を迎え、発足時から受け継がれた産・官・学共同による地道な実践研究の伝統は、現在40余りの研究交流事業やビジネス・スクールでの人材養成プログラムなどに見られるとおりますます強化され、比類なき研究機関として期待を集め、それを中心に多様かつ広範な活動が展開されています。

当会の歩みは戦後の経済成長を達成し、近年の国際経営・福祉社会の発展を担う企業の役割と軌をひとつにしているものといえましょう。

会 長	小枝 至	日産自動車㈱	相談役
副 会 長	有馬 利男	一般社団法人グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク	代表理事
"	伊藤 一郎	旭化成㈱	取締役会長
"	葛岡 利明	㈱日立製作所	代表執行役 執行役専務
副会長、専務理事	石山 進	一般社団法人企業研究会	
"	榮 敏治	新日鐵住金㈱	代表取締役副社長
"	鈴木 洋	H O Y A ㈱	代表執行役最高経営責任者
"	津田 晃	㈱西島製作所	社外取締役
"	広瀬 道明	東京ガス㈱	代表取締役社長
"	内田 幸伯	一般社団法人企業研究会	
"	池田 朋之	一般社団法人企業研究会	事務局長
監 事	谷口 昌己	公認会計士	
"	森田 和一	パナソニック㈱	役員
評議委員会議長	牛尾 文昭	㈱東芝	前代表執行役専務
評議委員会副議長	松本 佳久	元 出光興産㈱	代表取締役副社長
評 議 委 員	天野 里司	㈱長谷工不動産ホールディングス	代表取締役副社長
"	太田 克彦	新日鐵住金化学㈱	代表取締役社長
"	鹿島浩之助	日本システムウェア㈱	取締役監査等委員
"	川村群太郎	タイキン工業㈱	特別顧問
"	木村 隆秀	古河電気工業㈱	取締役兼執行役員専務
"	小島喜代志	日立キャピタル㈱	取締役
"	杉岡 直人	アヴァンセ・マネジメントコンサルティング	代表／学習院大学講師
"	高橋 勝俊	アサヒグループホールディングス㈱	専務取締役兼専務執行役員
"	田中 恭代	旭化成㈱	人事副シニアマネージャー／元 旭化成アミダス㈱ 代表取締役社長
"	玉生 弘昌	㈱プラネット	代表取締役会長
"	長尾 裕	ヤマト運輸㈱	代表取締役社長
"	中村 正陽	キャノン㈱	常務執行役員
"	羽藤 秀雄	住友電気工業㈱	常務取締役
"	日高 信彦	ガートナージャパン㈱	代表取締役社長
"	吉武 博通	首都大学東京 理事／筑波大学 名誉教授	

参加要項

◆年会費(参加料):1 名につき

正会員	250,000円	一般	280,000円
	(税込価格 270,000円)		(税込価格 302,400円)

※資料代・通信費・飲食代を含みます。※宿舎研究会費などは別途ご予定ください。
※一分割払い、お支払時期、請求費目などお気軽にご相談ください。
※「正会員」とは、当企業研究会に法人会員として登録していただいている企業です。

◆お申込方法: 以下のお申込書に必要事項をご記入の上、下記まで FAX でお送り下さい。

※企業研究会ホームページからの申込みも可能です。 [企業研究会](#) [グローバル財務戦略研究会](#)

〈体験参加について〉第1回例会(2/21)、第2回例会(3/14)は当会合の雰囲気などをご覧いただくため、入会を検討中の方にもご参加いただけます。以下申込書の「体験参加」の欄にチェックいただき必要事項をご記入の上、FAXにてお送り下さい。

◆お支払方法: ご参加者宛てにご請求書をお送り致しますので、その後、指定銀行口座にお振込下さい。

◆お問い合わせ: ご一報いただければ詳細なご説明に参りますので、お気軽にご連絡下さい。

一般社団法人 企業研究会 「経営管理」研究グループ 担当/居代
〒102-0083 千代田区麹町5-7-2
TEL: 03-5215-3516 FAX: 03-5215-0951~2
e-Mail: ishiro@bri.or.jp https://www.bri.or.jp

FAX: 03-5215-0951~2

事業コード 170017

『第35期 グローバル財務戦略研究会』申込書

- 会合の趣旨に賛同し、下記により参加を申込みます。
 参加検討中につき、体験参加を希望します。〈参加希望日 2/21 3/14 いずれかにチェックして下さい)

年 月 日

会社名	会社所在地		
	〒		
氏名	フリガナ		
TEL	所属	役職	
FAX	E-mail		
備考			

アンケート(会合に期待すること、情報交換したい点など、ご記入ください。)

※本申込書にご記入いただいた個人情報は、当会合に関する確認連絡および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。